令和6年度

働く女性のための
いみずキャリアステップ応援塾

ようこそ応援塾へ

～女性がイキイキ活躍できる環境を目指して～
応援塾、今年も開講です！

令和6年度 働く女性のための「いみずキャリアステップ応援塾」は8月23日に開講しました。

この応援塾はリーダーの役割を担う女性のスキルアップと相互交流、業種・職種の枠を超えたネットワークづくりを支援することを目的とし、今年で３度目の開催となります。

8月から12月にかけて月1回の全5講座を開催し、研修・交流・講演などの様々なコンテンツを通してキャリアステップへの学びと意欲を高めました。参加する塾生からは、多角的な視点を持てる貴重な機会であると毎年好評をいただいています。

今年度も市内企業から、年齢・職種も様々な24名の方に参加いただき、一人ひとりがキャリアアップへの様々な想いを胸に開講式に臨みました。

なお、この事業は令和4年4月に射水市と株式会社プレステージ・インターナショナルとが締結した「包括的連携に関する協定」により「女性活躍推進に関すること」について連携協力して行われるものです。

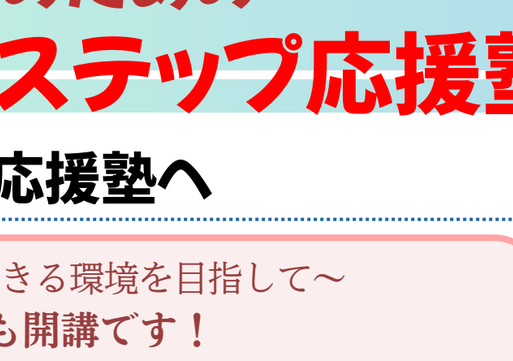
STEP 1

コミュニケーションスキルを磨く
～信頼関係を築くために～

令和6年8月23日（金） 射水市役所

開講式に続いて開催されたSTEP 1では「最強のチームを作ろう」と題して「1つのゴールに向かい、協力して行動する」という実践ワークを行いました。

最強のチームを作るためには、『コミュニケーション』という面において『いかにわかりやすい指示を出すことができるか。その指示をいかに正確に理解し行動することができるか』という相互の協力が欠かせません。このワークでは、これから各々の職場でリーダーを担う塾生の皆さんに大切にしていただきたい『相手の立場に立って考える力』を養いました。



実践ワーク終了後にはさらなる成長とスキルアップに生かすべく、改めてメンバーで話し合い、チームワークについての理解を深めました 。受講後のアンケートには「チームワークにおいていかに『相手の立場に立って考える』ことが重要であるかを再確認できる機会となりました」などの感想が寄せられました。

STEP 5

ビジネススキルを学ぶ
～武器にできるビジネススキルを増やす～

令和6年12月19日（木） 射水市役所

全5回のいみずキャリアステップ応援塾の最終回として開催されたSTEP５では、講義の開始前から会場のあちこちで笑顔で近況を交わし合う塾生同士の姿が見られました。この回では武器にできるビジネススキルを増やすことを目的に、『ファイナンス』『マーケティング』『SWOT分析』の3つについて、その基礎を学びました。

専門用語や専門知識が飛び交うため、難しいと感じられる分野ですが、今回の研修では身近で分かりやすい例を用いながらそれぞれの基礎について理解を深めました。

塾生の皆さんからは「実際に自社の強みや弱みを分析してみると面白かった」や「すぐに仕事に生かせそうだと思った」と前向きな感想が寄せられました。

閉講式＆修了証授与

閉講式では、夏野市長から塾生へ修了証が授与されました。

夏野市長からは「8月から本日まで、それぞれの仕事もある中で、熱意と意欲を持ってご参加いただいた。塾生の皆様はこの応援塾で多くの気づきや学びを得られたと思っている。業種・職種を超えた交流により培われたスキルやネットワークを生かし、ご自身のさらなる成長に繋げていただくと共に、自分らしい『女性活躍』を実践していただきたい。これからも『女性が働きやすく、生活しやすく、いきいきと活躍できる環境づくり』を推進するため、様々な施策に取り組んでいく」と挨拶がありました。

塾生からの感想

STEP１～５を通してご自身の成長や変化を感じられたところを教えてください。
また、部下や後輩の変化を感じられたところがあれば教えてください。

部下に興味を持つようにし、仕事以外の場面でも積極的 に声掛けを行うようになった。また、仕事上では、相談を受けたらどんな細かなことでも 必ず返事・答えを出すように心がけられるようになった。

自身のなりたい人物像を見つけるることができた。自分の中で考えを発言したり伝えたりするとき、どんな伝え方であればより良い気持ちで相手が聞いてくれるかなどを考えて発言するように意識している。

言葉の重要性を非常に感じた。言葉の選択や話し方次第で自分自身をコントロールできて、さらに相手の反応も変わると学べた。同僚や部下とは、関係性が以前よりも少しずつ良くなってきていると感じる。

参加企業名（五十音順）

アルビス株式会社／射水ケーブルネットワーク株式会社／射水市商工会／射水市役所／いみず野農業協同組合／社会福祉法人射水万葉会／学校法人浦山学園／川口貸衣裳／救急薬品工業株式会社／株式会社富山第一銀行／株式会社プレステージ・インターナショナル／株式会社プレステージ・コアソリューション／株式会社ボンシーズ／ヤマサン食品工業株式会社／株式会社リペイル

主 催／射水市、株式会社プレステージ・インターナショナル
（射水市と株式会社プレステージ・インターナショナルとの「包括的連携に関する協定」における女性活躍推進事業）
後 援／射水商工会議所、射水市商工会
企画運営／株式会社プレステージ・ヒューマンソリューション

【発行】 射水市市民生活部 市民活躍・文化課
〒939-0294 射水市新開発410番地1
ＴＥＬ：0766-51-6622 FAX：0766-51-6654
MAIL：shiminbunka@city.imizu.lg.jp

生きている限り、人間は未完成だ
明日の自分は無限の可能性で満ちている
さあ、進化を楽しもう

［講師］前刀 禎明（さきとう よしあき）

ディアワンダー株式会社 代表取締役CEO＆CWO／ 元アップル米国本社副社長

ソニー、ベイン・アンド・カンパニー、ウォルト・ディズニー、AOLなどを経て、アップル 米国本社副社長 兼 日本法人代表取締役に就任。スティーブ・ジョブズ氏に託された日本市場で危機的であったアップルを復活させた。リアルディアでは、企業のトランスフォーメーション支援などセルフイノベーション事業を展開。2023年にディアワンダーを設立し、新たな挑戦を始めた。 AIを創造的に活用してCQ（好奇心・創造性指数）を高める「WONDER LEARNING」事業を開発している。リアルディア代表取締役CEO、AI inside取締役を兼務。

DEARWONDER＋（ディアワンダープラス）
https://www.dearwonder.ai/

STEP 4

前刀禎明氏に学ぶ

令和6年11月12日（火）
プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン

このSTEPでは、トップリーダーに直接学ぶ講演会として、前刀禎明氏を講師にお迎えしました。ソニーやウォルトディズニー、アップルと、世界を牽引する各業界のリーディングカンパニーを渡り歩いた前刀氏によって語られた『学びと成長』。圧倒的な経験と知見から飛び出す生きた言葉に、いまこの時から一歩を踏み出す勇気をもらいました。講演会で語られた内容を一部ご紹介いたします。

自己革新をし続けよう

『学び』に関する二つのキーワードがあります。一つ目は講演会のタイトルにも掲げた『ワンダーラーニング』。ワクワクしながら自発的に学ぶことを指す言葉です。自己革新のために必要なのは、まずは『受け身で“学ばされる”状態』から脱却してワクワクすることです。二つ目は『ラーニングインテリジェンス』。直訳すると『学ぶ知性』です。

この二つの『学び』から生み出されるものこそセルフイノベーション、つまりは『自己革新』であり、凝り固まった固定観念から脱却し、現状に満足せずに自分を超え続けていくことです。人生とは、セルフイノベーションとチャレンジの連続なのです。

AIと共に進化する知性

知性（Intelligence）と聞いて何を思い浮かべますか。誤解されがちな解釈として「知能（偏差値）が高いこと、勉強ができること」と捉えられることがあります。知性とは人それぞれの才能のことであり、またその才能を生かすことを言うのです。

この世に正解はありません。基準が変われば答えも常に変化します。自分ならではの答えを追い求める探求心こそが知性、あるいはクリエイティブインテリジェンス（創造的知性）なのです。

クリエイティブインテリジェンスは、好奇心の対象をよく観察し、問いを考えて実験し、自分の答えを他者に相談する。そうして学んだことをそこだけに留まらずに次々と関連付けていく力のことです。

この力を養成するためのツールとして『DEARWONDER＋』（ディアワンダープラス）というAIアプリを開発しました。このアプリは、使用者の発想のプロセスを記憶したAIと対話することで、散らばったイメージや発想から新たな視点を生み出し、まだ見ぬアイディアのヒントをくれる存在です。ワンダーラーニングによりCQ（好奇心・創造性指数）を高め、未来を創るクリエイティブデザイアを育めます。

いま世界では、AIを活用できる人材が求められています。好奇心をふくらませ、AIと共に創造的知性を養うことが、自身の未来を照らす光となります。

自分が変われば世界が変わる

講演会で前刀氏から終始語られたのは、変容と創造を続けることの大切さです。「何かを変えたいならまずは自分が変化しよう」というメッセージは、キャリアステップを考える塾生の皆さんの心に強く響いたのではないでしょうか。理想の未来は自分の手で創る。心に素直に従う勇気を持ち、明日への一歩を踏み出しましょう。

STEP 2

ビジネスマナーを身につける 先輩に学ぶ（交流会）

令和6年9月10日（火）
プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン

STEP2ではプレステージ・インターナショナル富山ＢＰＯタウンで活躍している管理者の皆さんとの交流会を行いました。講師として参加した管理者の先輩は、伊藤圭さん、渕綾さん、滑川拓也さんの3名です。それぞれ所属の部署を率いる業務部長として活動されています。講師の皆様のトークを一部抜粋してご紹介します。

伊藤 佳さん （富山オートモーティブ業務部　業務部長）

人生の中で仕事に熱中する時期だったり、家庭やプライベートに集中する時期があると思うので、その時その時で、自分が無理をしないバランスで過ごせているかを自分自身で確認することを大事にしています。

自分が心地よい状態じゃないと思ったら周りに頼ったり甘えたりしてください。自分を大事にしながら仕事と向き合うことができれば、それがベストだと思います。

渕 綾さん （富山カスタマー業務部　業務部長）

漠然と「このころまでに年収はこのくらいの額に到達したい」とか「キャリアを積んでおきたい」とか何となくイメージはしていました。だからこそ、若い時から任された仕事は全力でやって、それを積み重ねてきました。そうやっているうちに自身のライフステージが変化して、それに伴って次のキャリアプランが見えてきて、というのを繰り返している感じです。いかに自分が自然体でいられるか、仕事も頑張りつつ子どもたちの成長を近くで見守っていけるか、その時に最も適していると思う方法を常に選んできました。

滑川 拓也さん （富山インシュアランス業務部　業務部長）

失敗経験や挫折経験はたくさんしてきたはずなんですけど、正直あまり記憶には残っていないです。自分の中で失敗を乗り越えるには、失敗した後の成功体験しかないと思っています。失敗したまま次に行こうとしてもその失敗は自分の中に残ってしまう。失敗を失敗で終わらせずにどう乗り越えて成功につなげるかが大事だと思います。もちろん一人ではなく、常に周りに助けは求めていました。周囲の人のアドバイスを聞くのは大事だと思います。

先輩から塾生へのエール

仕事を通して自分が成長できるかどうか、ということが1番大事です。様々な経験を積んでいく中で、楽しいこともあればつらいこともたくさんあると思います。それらを『いい経験になったな、楽しかったな』と思えるかは自分次第。たとえ1歩が小さくても、前を向いて進めたということは必ずキャリアアップに繋がります。常に、自分のために自分が幸せな選択ができているかということを大切にして実現したい未来に向かっていってください。

STEP 3

自己理解・他者理解を深める ～自身のキャリアアップとメンバーのキャリア形成に向けて～

令和6年10月8日（火）
プレステージ・インターナショナル富山BPOタウン

このSTEPでは『ストレスとの付き合い方』と人材育成に必須なスキルである『コーチング』について理解を深めました。正解を一方的に教える『ティーチング』に対して、『コーチング』は共に答えを導き出すものです。

応援塾に参加した塾生のほとんどが管理者として部下の育成やメンバーのケアを経験していたこともあり、参加後の感想には、「すぐにでも業務に取り入れたい」や「他のスタッフにも共有したい」と意欲的な意見が寄せられました。